

9 B.200年以上の間、日本は、隣国の中国や朝鮮をも含めて、世界とほとんど交渉を断絶したままであった。島上の少数のオランダ人と、おりおりあらわれる中国人が、わずかに外界との通路の役目を果たした。この鎖国はまことに異常な現象で、歴史が描かれてから、他のいかなる時代、いかなる国にも別の例をもとめることはできない。謎めいたチベットや中央アジアでも、隣国との交渉が耐えたことはなかった。ひとり孤立するということは危険なことだ。個人にとっても、民族にとっても、いずれにせよ危険だ。しかし日本は、それを切り抜けた。そして国内の平和を保ち、長期戦の内戦の痛手をいやした。そして、1853年をさいごとして、再び扉と窓を開け放った時に日本はまた一つの奇跡を成し遂げた。……

日露戦争は1905年の9月のポーツマス条約で終わった。……かくて日本は勝ち、大国の列に加わる望みをとげた。アジアの一国である日本の勝利は、アジアの全ての国々に大きな影響を与えた。私は少年時代、どんなにそれに感激したかをお前によく話したことがあったものだ。……